

●中間処理場

1. 施設概要

不燃ごみや粗大ごみを破碎・選別する施設として、中間処理場を設置しています。
 中間処理業務を行うとともに、施設の見学会等を実施しています。

(1) 施設一覧

表 施設一覧

施設名	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	備考
中間処理場	貫井北町1-8-25	1,543.47	昭和61	

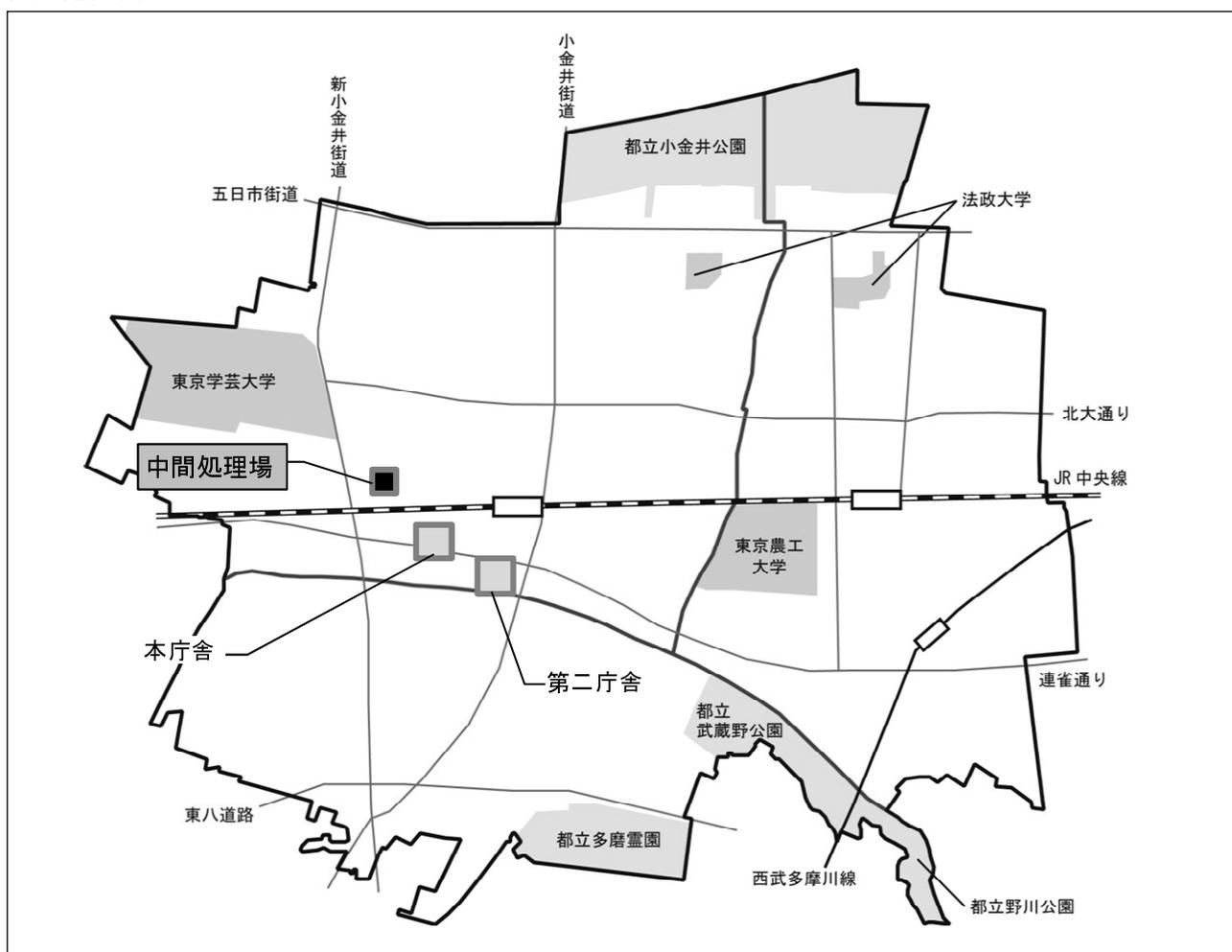
(2) 運営日数、処理不稼働日、運営時間

運営日数：257日（平成22年度）

処理不稼働日：土曜日、日曜日

運営時間：午前8時30分～午後5時15分

図 配置図



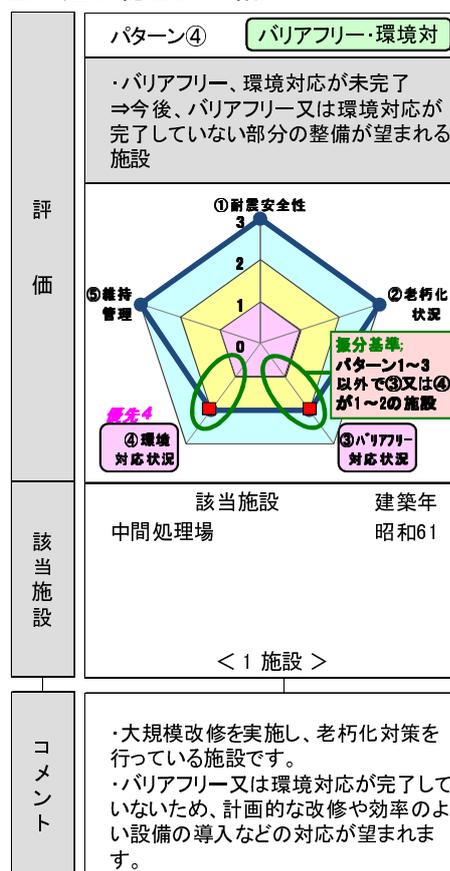
2. 実態把握

(1) 建物状況

中間処理場は建築後 24 年を経過しており、老朽化が問題となったため、平成 28 年度までに再整備を行う前提で、平成 18 年度に大規模改修を実施しました。

* 建物管理委託費は処理機械等の運転を含め一括で委託しているため、評価対象から除きます。

図 建物総合評価結果



(2) 利用状況

中間処理場の見学会の平成 22 年度年間利用者数は延 572 人です。運営日 1 日当たり約 2.3 人となっています。

(3) 運営状況

中間処理業務（施設維持管理を含む）は民間事業者に業務委託して行っています。施設内には市の職員 2 人と委託先職員 8 人の 10 人が従事しています。

表 運営人員

(人)

中間処理場維持管理・運営	市	一般職員	2
	委託	職員	8
	計		10

(4) コスト状況

中間処理場の年間トータルコストは1億3,995万円です。内訳は、事業運営にかかるコスト（人件費、業務委託料、その他物件費等）8,406万円（約60%）、施設にかかるコスト（修繕料、委託料）4,730万円（約34%）がかかっています。その他に建物の減価償却相当額が858万円となっています。

表 公共施設トータルコスト計算書（平成22年度）

I. 現金収支を伴うもの

(千円)

【コストの部】		中間処理場
施設にかかるコスト	修繕料	28,673
	改修費	0
	光熱水費	8,546
	委託料	9,937
	使用料及び賃借料	0
	公有財産購入費	0
	負担金補助及び交付金	0
	その他物件費	141
	施設にかかるコスト	47,297
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	20,107
	再任用職員人件費	0
	修繕料	0
	委託料	49,014
	使用料及び賃借料	3,400
	公有財産購入費	0
	車両・備品購入費	0
	負担金補助及び交付金	0
	その他物件費	11,544
事業運営にかかるコスト	84,065	
現金収支を伴うコスト 計		131,362

【収入の部】

収入	手数料収入	0
	使用料収入	0
	諸収入	0
収入の合計		0

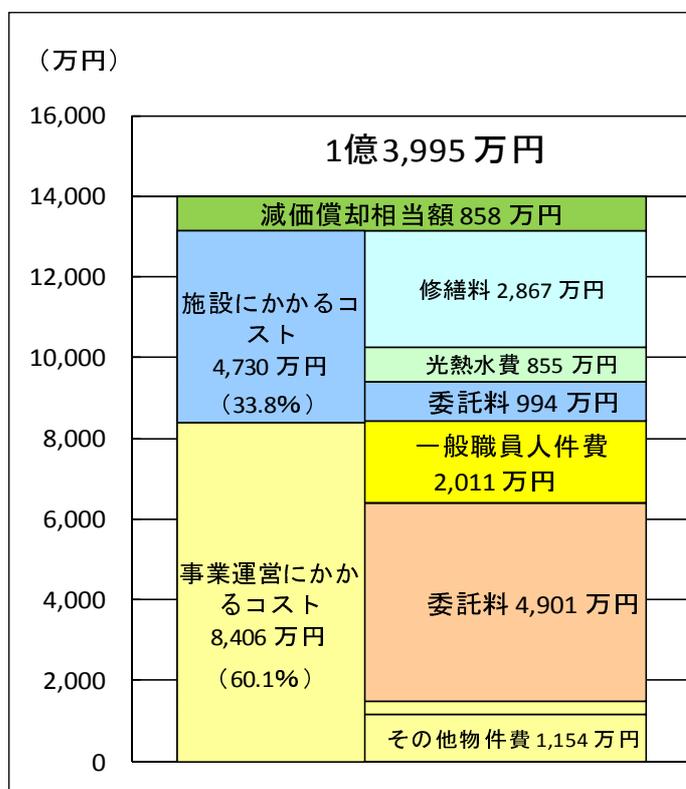
II. 現金収支を伴わないもの

コスト	減価償却相当額	8,584
	不納欠損額	0
収入	収入未済額等	0

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	139,946
収支差額(ネットコスト)	139,946

図 トータルコスト（平成22年度）



●北一会館

1. 施設概要

北一会館は中間処理場の地域振興対策に伴う地域への還元施設として設置した施設です。利用対象者は主に「貫井北町一丁目町会」の会員であり、貫井北町一丁目町会が自ら維持管理・運営を行っています。施設内では地域のお祭りや防災訓練、自治会の会合等の開催や地域の自主サークルや地域住民等に施設（スペース）を提供する事業を行っています。

(1) 施設一覧

建物は平屋建て 142.6 m²の戸建てです。庭があり、施設内だけでなく庭でも地域事業を開催しています。

表 施設一覧

	住所	延床面積 (m ²)	建築年度 (年度)	備考
北一会館 (中間処理施設地域還元施設)	貫井北町1-11-11	142.56	平成8	中間処理施設設置に伴う地域への還元施設

(2) 開館日、開館時間

- 開館時間：午前9時～午後6時
- 休館日：毎週月曜日
- 年間運営日数：308日（平成22年度）

(3) 主な地域事業内容（主催事業）

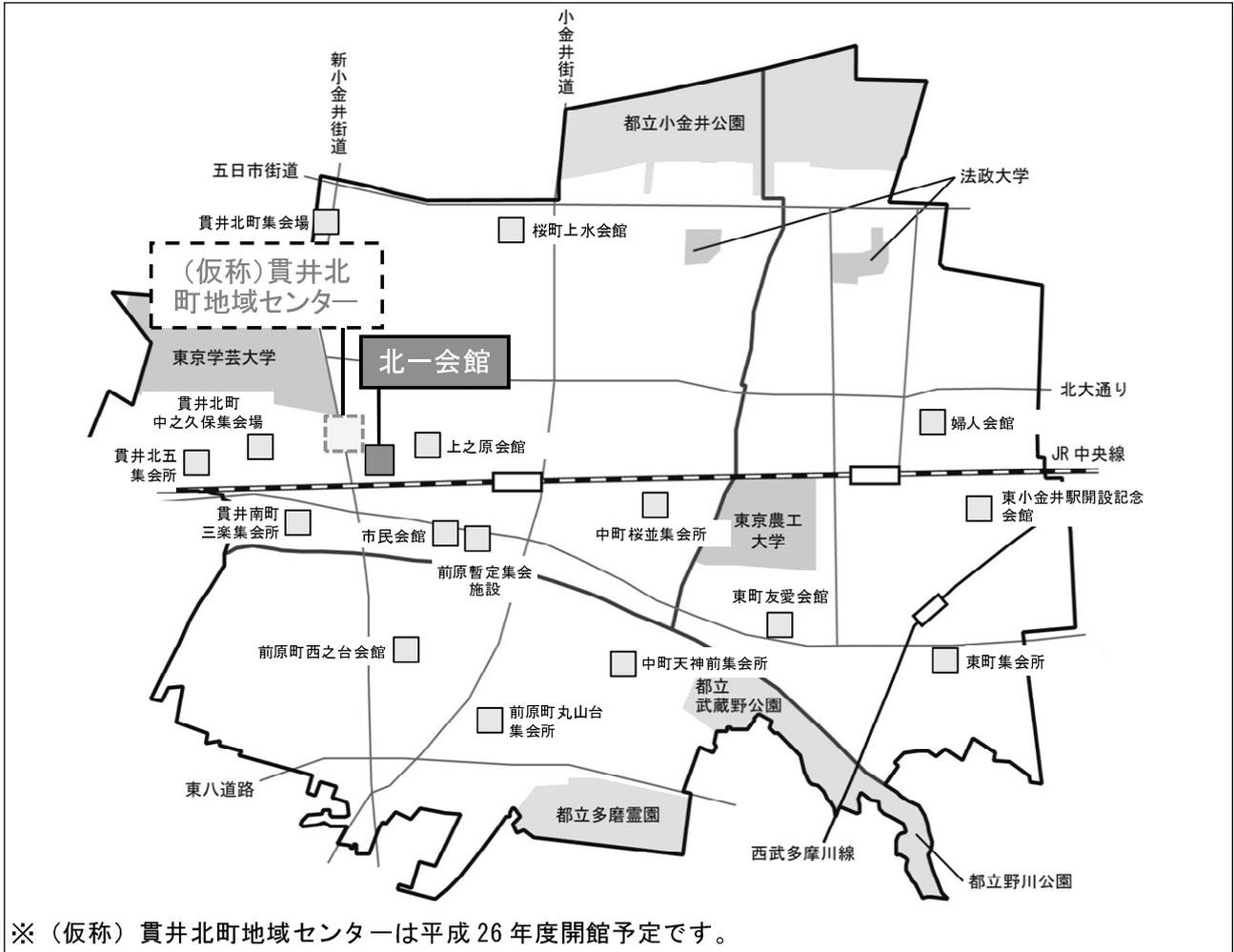
北一会館では以下のような事業を実施しています。（年間開催回数は平成22年度実績）

事業名	事業内容	年間開催回数
恒春会 (高齢者対象)	高齢者の介護（認知症予防対策）を目的とした、軽い体操や脳トレーニングを実施している。	50回
資源回収	町会（町の補助）のために、町内の古紙・ダンボールを回収している。	13回
役員会	町会としての活動方針、事業内容についての会議を行っている。	13回
お子様広場 (幼児対象)	保育士に来てもらい、0歳～就学前の児童を対象に本を読んだり、遊びを取り入れての活動を通して子育ての相談を行っている。	12回
祭礼	毎年貫井神社祭の一貫として、貫井囃子の方々を招き、北町町会の交流を行っている。	1回
防災 (訓練・一般参加)	消防士に来てもらい、不慮の事故、震災に備えて初期消火や人工蘇生の訓練を行い、非常食を体験したり、豚汁等を作りながら、事態を予測しての訓練を実施している。	1回

(4) 施設配置

北一会館は(仮称)貫井北町地域センター(平成26年4月開館予定)内で地域センターの建物に隣接して配置しています。

図 北一会館配置図

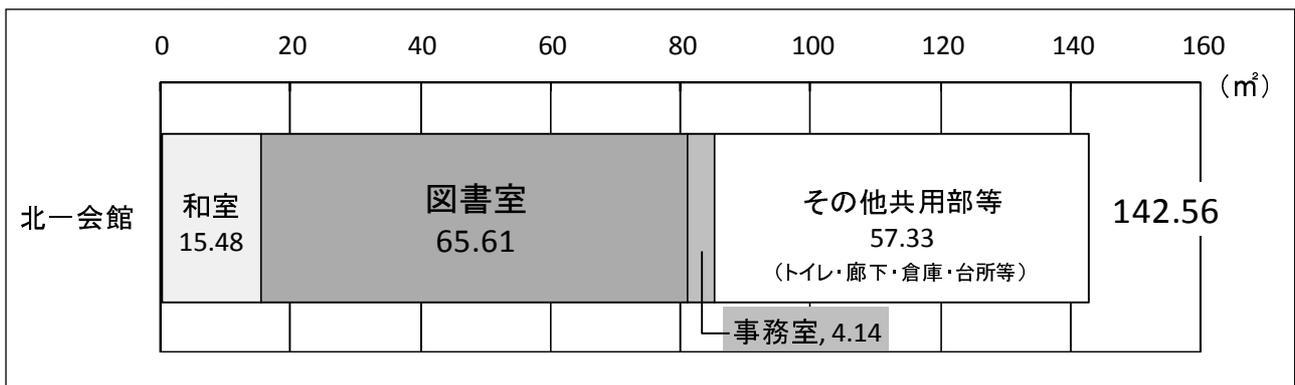


(5) スペース構成

北一会館の延床面積は142.6㎡です。スペース構成をみると、市民が利用できるスペースとして、会議・集会等を行える和室と図書室があります。また、事務室、倉庫といったバックヤードスペースがあります。

施設内だけでなく、屋外でも事業等を開催しています。

図 スペース構成(平成22年度)



2. 実態把握

(1) 建物状況

北一会館は比較的新しい施設ですが築14年経過しており、屋根防水の修繕や設備機器の更新等、経年劣化に伴う修繕が必要な時期となっています。また、今後一部バリアフリー化等が必要となっています。

ただし、本施設は中間処理場の地域振興対策に伴う地域への還元施設として設置した施設であり、基本的には利用者を限定しているため、市全体の施設整備の観点から、整備の優先順位等については検討する必要があります。

図 建物総合評価結果

評 価	<p>パターン④ バリアフリー・環境対応</p> <p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリー又は環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>
	<p>①耐震安全性 3 2 1 0</p> <p>②老朽化状況</p> <p>③バリアフリー対応状況</p> <p>④環境対応状況</p> <p>⑤維持管理</p> <p>振分基準; パターン1~3 以外で③又は④ が1~2の施設</p> <p>優先4</p>
該 当 施 設	<p>該当施設 建築年</p> <p>北一会館 平成8 (中間処理施設地域還元施設)</p> <p>< 1 施設 ></p>
コ メ ン ト	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリー又は環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>

(2) 利用状況

図書室の利用については、児童（親子）図書室と同様に開館時間内は、随時開放し、貸出・返却が行えます。

和室の利用については、町内会合用として、随時（事前に管理人室に連絡し、使用許可をもらってからの利用）使用されています。囲碁クラブ、資源回収物のより分け、ストレッチクラブ後の交流会、恒春会等で図書室が使えない場合、和室を図書室の代わりに利用している場合もあります。

■ 年間の利用状況

平成 22 年度の利用状況は 828 件の利用があり、利用者数は 9,447 人となっています。運営 1 日当たりでは約 2.7 件、約 31 人となっています。

利用目的別の内訳をみると、貫井北町一丁目町会の主催事業が 110 件（約 13%）、地域利用（団体）が 308 件（約 37%）、ストレッチクラブや茶話会といったその他利用が 360 件となっています。

部屋別の内訳をみると、図書室利用が 393 件と全体の 47%を占め、運営日 1 日当たり約 1.3 件利用されています。和室の利用は 50 件、屋外作業でのその他利用が 385 件となっています。

部屋別の年間利用率をみると、年間の利用可能時間が 1 部屋あたり 2,772 時間で、そのうち利用時間が和室は 350 時間で利用率は約 13%となっています。図書室は 565 時間で利用率は約 20%をなっています。

図 部屋別利用者数・利用件数と利用目的別利用件数（平成 22 年度）

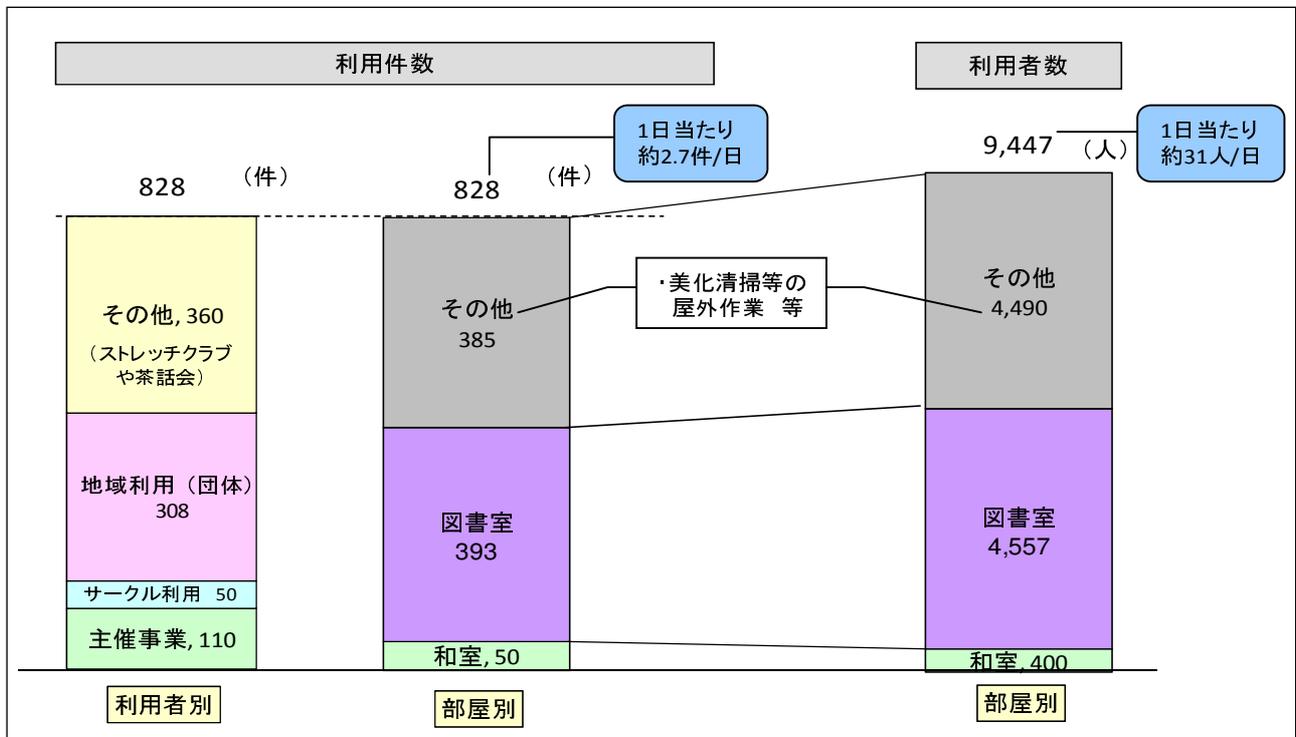
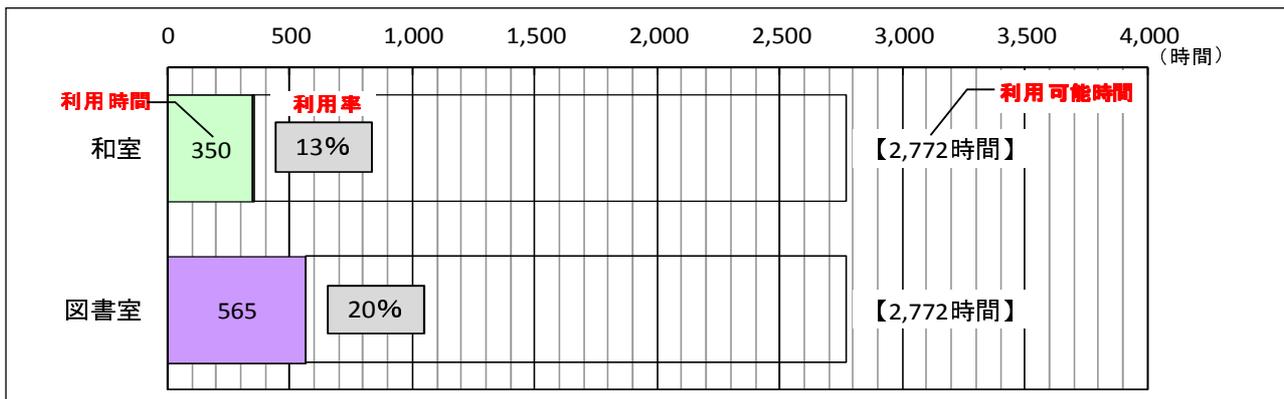


図 部屋別年間利用率（平成 22 年度）



(3) 運営状況

■ 運営人員

北一会館は「貫井北町一丁目町会」が自ら維持管理・運営を行っています。

貫井北町一丁目町会の会員のうち、施設維持管理 13 人、施設の利用に関する受付・案内 13 人が持ち回りで維持管理・運営を行っています。施設の鍵の管理は、当日の担当者が閉館後に翌日の担当者自宅に行って、施設の鍵を手渡して行っています。

表 運営人員

(人)

施設維持管理	市職員	—
	貫井北町一丁目町会 会員	13
	計	13
施設の利用に関する 受付・案内	市職員	—
	貫井北町一丁目町会 会員	13
	計	13
中間処理場 運営協議会	市職員	4
	貫井北町一丁目町会 会員	8
	計	12
合計	市職員	4
	貫井北町一丁目町会 会員	34
	計	38

■ 運営体制

運営体制をみると、平日、土日、祝日は同じで、1 日当たり町会員担当で延 3 人がローテーションを組んで従事しています。

図 運営体制

	9:00	18:00
北一会館 運営体制	貫井北町一丁目町会 会員 3人	

(4) コスト状況

北一会館の年間トータルコストは 451 万円です。内訳は、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託料等）42 万円（約 9%）、事業運営にかかるコスト（負担金及び交付金等）289 万円（約 64%）、減価償却相当額 121 万円（約 27%）となっています。

事業運営にかかるコストの内訳をみると、貫井北町一丁目町会への北一会館運営交付金が 269 万円となっており、トータルコストの約 60%を占めています。

施設にかかるコストの内訳をみると、光熱水費 30 万円、消防設備や冷暖房設備の保守・点検委託費が 12 万円となっています。

平成 22 年度の年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人当たりにかかるコストを機械的に算出すると、平均は 477 円/人となっています。同様に年間利用年数とトータルコストから利用 1 件当たりコストを算出すると、平均は 5,445 円/件となっています。

表 公共施設トータルコスト計算書（平成 22 年度）

I. 現金収支を伴うもの		(千円)
【コストの部】		北一会館
施設にかかるコスト	修繕料	0
	改修費	0
	光熱水費	299
	委託料	117
	使用料及び賃借料	0
	その他物件費	0
	施設にかかるコスト	416
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	0
	再任用職員人件費	0
	委託料	0
	使用料及び賃借料	15
	負担金補助及び交付金	2,695
	その他物件費	177
	事業運営にかかるコスト	2,887
現金収支を伴うコスト 計		3,303
【収入の部】		
収入	使用料収入	0
	諸収入	0
収入の合計		0
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	1,206
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		4,509
収支差額(ネットコスト)		4,509

図 トータルコスト（平成 22 年度）

